

第8回 にぎわい拠点整備WGの開催結果																																					
日時	平成26年1月15日(水) 9:30~12:00																																				
場所	亀岡市役所2階会議室																																				
出席者	<table border="0"> <tr> <td>京都市立芸術大学 教授</td> <td>藤本 英子</td> <td>グループ長</td> </tr> <tr> <td>亀岡市観光協会 事務局長</td> <td>栗山 健</td> <td>副グループ長</td> </tr> <tr> <td>保津川遊船企業組合 代表理事</td> <td>工藤 正</td> <td></td> </tr> <tr> <td>篠町まちづくり推進会議 会長</td> <td>藤田 修</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亀岡地区東部自治会 事務局長</td> <td>塚本 政雄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亀岡防犯推進委員連絡協議会 公募委員</td> <td>上田 一夫 細川 武</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亀岡市 観光戦略課</td> <td>松本主幹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亀岡市 土木管理課</td> <td>橋本課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亀岡市 社会教育課</td> <td>斉藤主事</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(欠席6名)</td> </tr> <tr> <td>(事務局)</td> <td>京都府南丹土木事務所 河川砂防室</td> <td>木下室長、井尻副室長、中主査、竹内技師</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亀岡市 桂川・道路整備課</td> <td>並河課長、柴田担当課長、関口副課長、竹村主査</td> </tr> </table>	京都市立芸術大学 教授	藤本 英子	グループ長	亀岡市観光協会 事務局長	栗山 健	副グループ長	保津川遊船企業組合 代表理事	工藤 正		篠町まちづくり推進会議 会長	藤田 修		亀岡地区東部自治会 事務局長	塚本 政雄		亀岡防犯推進委員連絡協議会 公募委員	上田 一夫 細川 武		亀岡市 観光戦略課	松本主幹		亀岡市 土木管理課	橋本課長		亀岡市 社会教育課	斉藤主事		(欠席6名)			(事務局)	京都府南丹土木事務所 河川砂防室	木下室長、井尻副室長、中主査、竹内技師		亀岡市 桂川・道路整備課	並河課長、柴田担当課長、関口副課長、竹村主査
京都市立芸術大学 教授	藤本 英子	グループ長																																			
亀岡市観光協会 事務局長	栗山 健	副グループ長																																			
保津川遊船企業組合 代表理事	工藤 正																																				
篠町まちづくり推進会議 会長	藤田 修																																				
亀岡地区東部自治会 事務局長	塚本 政雄																																				
亀岡防犯推進委員連絡協議会 公募委員	上田 一夫 細川 武																																				
亀岡市 観光戦略課	松本主幹																																				
亀岡市 土木管理課	橋本課長																																				
亀岡市 社会教育課	斉藤主事																																				
(欠席6名)																																					
(事務局)	京都府南丹土木事務所 河川砂防室	木下室長、井尻副室長、中主査、竹内技師																																			
	亀岡市 桂川・道路整備課	並河課長、柴田担当課長、関口副課長、竹村主査																																			
内容 (次第)	1)開会 2)議事 ○現地確認(現地にバスで移動) ○計画方針の決定(会議室) ○その他 3)閉会																																				
結果	<p>○自然を活かす、自然の風景を創るという方向性のもとで整備を進める。</p> <p>○根固めは、自然石等を用いる。</p> <p>○道路際の植栽は、高さ50cm程度とする。ただし、管理する中で安全と景観の両面で適正な高さ調整を行う。 また、幅は1m程度とし、道路と行き来できるスペースを複数箇所設ける。</p> <p>○ベンチやサイン等の施設には擬木は用いず、できるだけ自然な材質を用いる。</p> <p>○橋名柱は、天然石のものとする。</p> <p>○案内板などのサインについては、全体会議とも相互に意見を反映させる。</p> <p>○詳細な工法や設計内容は、WGの意向を反映し、発注者で決定してよい。</p> <p>(主な意見)</p> <p><植栽について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・下流の道路際の植栽の高さが1mというのは見通しが悪く、不自然ではないか。上流と連続性のある高さが好ましい。ただし、高さは運用、管理する中で調整していけばよい。 ・道路は歩車共存とし、道路際の植栽は高さを抑えて見晴らしを良くし、道路に入りやすくした方がよい。 ・子どもがボール遊びなどをしたとき、ボールが道路に転がると危険なので、ある程度の高さは必要だ。 ・道路際の植栽の高さは30~50cm程度にして、幅を広く取ってはどうか。 ・道路際植栽の幅を広くしても子供は渡りたがるだろう。植生の間にスペースを作って道路へ通れるようにするのはどうか。 ・道路際の植栽は、自然に見えるように丸みのある配置にしてほしい。 <p><河川根固めについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工沈床工などの工法も自然に優しい。 ・橋の下の整備範囲外の様子と合うようにした方がいい。 <p><ベンチ・スツールについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・擬木は偽物といった印象が強いのでやめて欲しい。 ・計画地は年に1回程度は浸水する可能性が高い。天然木はメンテナンスの問題を考えると難しい。 ・牛松山方向、広場方向と、見る方向が一方向ではないので、背もたれは無いほうが良い。 ・天然石のベンチにはスリットを入れると寒暖が伝わりにくいのではないかな。 ・廃棄処分する消波ブロックをスツールとして再利用してはどうか。 <p><橋名柱について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然石のものに決定する。 																																				

<案内板・解説板について>

- ・全体のサイン計画との統一などもあるので、その中で改めて考えるべきだ。
- ・擬木は使わないでほしい。
- ・あまり目立ち過ぎないように高くしない方がいい。背丈に関わらず見えるほうが良い。
- ・サイン計画を行うWGに、本WGの意見として伝える。

<その他>

- ・橋につながる市道は、脱色アスファルト舗装を使って自然な設えにしてはどうか。
- ・園路は川沿いを保津小橋の袂まで繋げても良いのではないか。
- ・川沿いの園路が景観の妨げにもなる。市道を通れば小橋へ行けるので、橋への動線は不要である。

